

第2期 町長マニフェストに係る事業進捗評価（令和7年3月31日現在）

「町民が幸福で豊かな生活ができる町」を目指し、人や産業を育てる施策(ソフト事業)、人や地域や産業に寄り添った行政サービス、後世に負担を残さない行政を目指します。

マニフェスト基本方針

- 1. 豊かで住みよい町づくり
- 2. 地元産業が元気になる町づくり
- 3. 安全・安心な町づくり
- 4. 心やすらぐ町づくり
- 5. 自立した町づくり

進捗評価

事業進捗評価に当たっては、各施策の進捗状況について、5つの基本方針に基づく**合計30の項目毎**にどの程度実施できているかという視点から、右記のとおり4つの進捗度指標により評価する。

進捗度	コメント
A	達成済
B	達成に向け、進捗が見られるもの
C	進捗度の低いもの
D	未実施

1. 豊かで住みよい町づくり

デジタル化(DX)を通じて、誰もが便利で健やかな暮らしを送ることができる町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-1	希望する小学生を対象に、公営学習塾に新たに英語学習を取り入れ、 町の未来を担う人材育成 に取り組めます。	A	達成済	主：教育課	▶ R3年度に開校した公営学習塾のみらい学園の入塾者数は、270人中155人であり、57.4%となっている。（R7年1月末現在） 英語教育の更なる充実を図るため、R5年度から5・6年生に英語学習を導入した。 ▶ 入塾者数が増加したことで教室が手狭になっており、また後期課程を習熟度別でクラス分けを行い、レベルに合ったきめ細やかな指導を行うため、新たな教室の確保が課題となっている。 入塾している児童生徒が快適な学習環境で学べるよう、R6年度にプレハブ（リース）の設置工事を実施し、同年中に利用を開始した。
1-2	図書館等複合施設 が町民ニーズに応えるよう、運営手法の検討及び整備を推進します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課 副：こども・ほけん課	▶ R3年度に策定した図書館等複合施設基本計画について、R4年度に事業費等の見直しを実施。R5年度に基本設計を策定した。 R6年度に基本設計に基づいた実施設計を策定した。 ▶ 図書館との複合施設として児童館を新設予定。今後の児童数減少を見据え、現在の利用者や今後利用者となる保護者等の意見を踏まえながら、2館統合の検討を行っていく。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-3	すべての子どもが幸せに暮らせるよう、子どもの発達やひとり親への支援など、 多様な視点で子どもの成長をサポート します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：こども・ほけん課 副：教育課	▶ R1年度に開設した病後児保育「わんわん」について、利用登録者数が78名となっている。（R7年2月末現在） 幼児スペース機能の充実を図るため、R5年2月に町内在住者を対象とした一時預かり保育を開始した。また、同年4月に新たに町内勤務者を対象に追加。 令和5年度の利用実績は4名。 ▶ 母子手帳アプリ「母子モ」で予防接種や健診等の情報を発信し、子育ての孤立感・負担感の軽減を図っている。登録率は46.4%。（R7年2月末現在） ▶ 令和7年度より、高校生を養育する家庭に、通学に係る費用について支援金を給付することにより、経済的負担の軽減、教育機会の均一化を図る。 ▶ 令和7年度より、保育所等を利用せず、家庭内で保育を行っている家庭に対し、支援金を給付することにより、経済的負担の軽減、多様な保育の実践を推進し、子どもの健全育成を図る。 ▶ 令和7年度より、心身が不安定になりやすい出産後の一定期間、身体的回復や心理的安定を促す支援が必要とする母子に対して、医療機関におけるショートステイ、デイサービスの利用を提供し、心身のケアや育児サポート等の支援を行うことで安心して子育てができる支援体制の確保を図る。
1-4	デジタル技術を活用して、 便利で利用しやすい公共交通の運行方法を検討し、導入 します。	A	達成済	主：防災安全課	▶ R4年度にAI活用型オンデマンドバス導入の検討を開始し、同年11月に、全国においてAI活用型オンデマンドバスの運行実績のあるシステムを提供するネクスト・モビリティ株式会社と協定を締結。R7年1月～2月に実証運行を実施し、3月からの本格運行とした。

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-5	高齢者が安心して元気に生活できる環境を整え、 健康寿命を延ばします。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：福祉・介護課 副：こども・ほけん課	▶ R3年度に開始した介護職員等就職支援奨励金制度について、R4年度から交付対象者を拡大し、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士を追加。 ▶ R4年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組み（正規職員の保健師等を専従させ、データ分析、保健事業の企画調整を行う。）を開始。 ▶ 通いの場（いきいき百歳体操）について、より効果的な体操とするため、R5年度から理学療法士、作業療法士による指導を実施している。年々、活動団体は増加している。 ▶ 高齢者向け住宅の拡充について、R5高齢者福祉計画策定時にニーズ調査を実施。調査結果を踏まえ、R10年度からの供用開始に向け、R6年度に基本計画を策定した。 ▶ 地域包括支援センターの業務委託について、R4年10月に町内介護事業者へサウンディング調査を実施。R7年4月から業務委託を開始する。 ▶ R6年度から75歳以上の町民を対象に、交通災害共済の掛金500円を全額負担し、高齢者の交通災害共済加入の負担軽減を図る。 ▶ R6年度から50歳以上の町民を対象に、带状疱疹ワクチンの接種費用を助成し、带状疱疹の発症及び重症化抑制を図る。 ▶ R6年度から介護ロボット（歩行アシスト）を活用し、定期的な前後の歩行状態を見える化することで、介護予防の質を向上させる。 ▶ R6年度から介護予防教室等においてシルバーeスポーツ教室を開催し、高齢者の身体機能や認知機能の低下防止を図る。 ▶ 認知症カフェ（オレンジカフェ）の延べ参加人数は年々増加しており、地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）と連携して認知症の周知を行った。
1-6	町民の健康の維持・増進を目指し、 自ら健康管理に取り組む習慣 を広めます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：こども・ほけん課	▶ R6年度に野菜摂取量を計測するベジチェックを導入（リース）し、町民の健康増進への動機づけ支援を行った。

2. 地元産業が元気になる町づくり

農林漁業・中小企業の振興を通して、にぎわいと雇用を創出できる町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-1	新型コロナウイルス感染症で打撃を受けた地域産業の振興に取り組めます。	A	達成済	主：企画商工課 副：農林水産課	▶ R4・5年度に本町独自の緊急経済対策として、玄海町みんなで応援券を発行した。 ▶ R4年度に原油価格の高騰の影響を受ける商工業者、農業者、畜産業者を支援するため、本町独自の原油価格等高騰緊急対策補助金を交付した。 ▶ R4年度に原油価格の高騰の影響を受ける施設園芸農業者を支援するため、本町独自の園芸生産燃油高騰対策事業費補助金を交付した。 ▶ R4年度に肥料等の価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、秋肥を対象に本町独自の肥料等価格高騰対策事業費補助金を交付し、R5年度に春肥を対象に補助金を交付した。 ▶ R6年度に配合飼料価格高騰の影響を受ける畜産業者を支援するため、本町独自の配合飼料価格高騰対策補助金を交付した。 R7年度も引き続き実施する。 ▶ R7年度に配合飼料価格高騰の影響を受ける漁業者を支援するため、本町独自の配合飼料高騰対策補助金を交付する。
2-2	農林漁業の 新規就業者 を支援します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ R4年10月に本町に移住し、新規就農や新規就漁を希望する人とのマッチングを図る「新規就農者・新規就漁者・移住相談会」へ参加した。 ▶ R4年度に関係機関で組織する「玄海町園芸推進協議会」を設置し、新規就農者への支援体制を整えた。 ▶ R4・5年度に本町に移住し新規就農や新規就漁を希望する人とのマッチングを図る「マイナビ農林水産FEST」へ参加した。 ▶ R5年度に新規就業支援策に新たに親元就農、就漁への支援を拡充した。 ▶ R5年度に新規就農者の初期投資抑制を図るため、施設整備・機械購入にかかる支援を開始した。 ▶ R5年度に園芸団地の候補地の選定及び入植予定者の選定を行った。 R6年度に園芸団地一部の整備工事を実施した。 R7年度も引き続き実施する。
2-3	民間企業の誘致に向け、新たな支援策を検討します。	A	達成済	主：企画商工課	▶ R5年度に企業立地に係る奨励金制度を拡充する規則を改正し、R6年度から施行した。事業所立地奨励金・操業支援奨励金を交付することで、立地企業の初期投資や運営費の軽減を図る。 ▶ 牟形コミュニティセンター及び値賀第2コミュニティセンターを企業誘致施設として令和7年度中に改修工事を実施する。

2. 地元産業が元気になる町づくり

農林漁業・中小企業の振興を通して、にぎわいと雇用を創出できる町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-4	町を支える 中小企業の活性化を支援 します	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ R5年度に玄海町元気1・2・3産業振興資金の 貸付限度額を3,000万円に増額 した。融資を円滑に行うため、R6年度に 預託金を増額 した。
2-5	地域資源を活用し、 外貨を稼ぐ力 を育てます。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課 副：農林水産課	▶ R2年度に完成した ミシマサイコ茶 を、R4年5月から「 和彩香茶 」として販売を開始した。 ▶ R4年11・12月に福岡市天神のホテルで「 玄海町フェア 」を開催し、玄海町の産品を使った料理を提供した。 ▶ 観光誘客等に寄与する拠点づくり について、R4・5年度に実施した仮屋地区における地域拠点整備導入調査の結果のほか、R6年度に関係者への説明を行い、令和7年度に測量、調査、設計を行い、その結果等を踏まえ検討を行っていく。 ▶ 「 和彩香茶 」の販売拡大及び生産者の所得向上を図るため、 機能性表示食品 登録に向けて検討を行っていく。令和7年度に機能性表示食品取得に向け、有効成分の調査等を行う。
2-6	遊休農地の活用に関する支援 を行います。	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：農林水産課	▶ R5年度に化粧品ブランド「THREE」化粧品の原料化に向け、 コモンタイムの試験栽培 を開始した。 また、地域計画策定に向け、意向確認のアンケート調査後、各地区で座談会を実施した。とりまとめ後、地域計画を公表した。 ▶ 化粧品の原料となるハーブの試験栽培により耕作放棄地、転作対策につながった。

3. 安全・安心な町づくり

感染症や災害から町民の命と暮らしを守り、安全安心に暮らせる町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-1	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図る取組を進めます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：こども・ほけん課 副：企画商工課	▶ R4・5年度に本町独自の緊急経済対策として、玄海町みんなで応援券を発行した。(2-1再掲) ▶ 令和6年度より新型コロナワクチンが定期接種となり10月1日から接種を開始した。
3-2	災害時の司令塔かつ防災教育の実践の場として「 防災センター 」の整備を進めます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 副：総務課	▶ 他自治体の情報収集のため、R5年8月に薩摩川内市防災センターを視察。R10年度から供用開始を目指し、R5年度に基本方針を策定した。R6年度に基本計画の策定及び基本設計業務を実施した。 ▶ 令和7年度に実施設計業務を行い、令和8年度から工事予定。
3-3	有浦川河川改修(県事業)の推進 を図るとともに、 関連事業を着実に実行 します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：まちづくり課 副：農林水産課	▶ R5年度に有浦河川改修に伴うまちづくり計画策定に係る近隣住民等への意見聴取をワークショップにて3回実施した。ワークショップでの意見を基に、同年3月にまちづくり計画を策定した。 ▶ R4年度に有浦川河口土砂測量業務委託を実施し、浚渫土量の算定、深浅の測量を実施した。浚渫後の土砂を地域拠点整備に係る埋め立てに活用するなど、関係者間で浚渫の検討をしていく。
3-4	「空家等対策計画」を作成し、 空き家の適正な管理と利活用を行う方針 を検討します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：まちづくり課	▶ R4年度に玄海町空家等実態調査を実施し、町内全域における戸建住宅の空家状況を把握したが、所有者等の特定や所有者の制度理解に時間を要することで、物件登録数が伸び悩み、移住・定住希望者を迎え入れることが出来ない状況である。 この状況を踏まえ、R6年度に所有者等の特定から空き家バンクの登録手続きまで行う空家等対策推進業務委託を実施し、空き家バンクへの登録件数の増加(R7.2.20現在：登録件数63件)、移住・定住の活性化を図った。 空き家の適正な管理や利活用方法を検討し、空き家の所有者へ助言等を行う。
3-5	安心な暮らしを実現できるよう 移住窓口の設置やお試し体験住宅を整備 します。	C	進捗度の低いもの	主：まちづくり課	▶ R4年11月に玄海町各地を回りながら、玄海町の土地柄や生活の雰囲気を経験できる「玄海町日常体験ツアー」を開催した。 ▶ R5年度に移住窓口で本町の補助制度を案内する際の、移住メリットが分かる玄海町の手厚い制度をまとめたパンフレットを作成した。 ▶ R5年度に移住希望者が短期間移住できる住居を提供することで、移住の最終判断や住まい探しの機会を確保するため、移住体験住宅のあり方や整備内容の検討を行った。 ▶ 移住イベント等でヒアリングなどをおとして、移住施策方針を構築し、移住に関する情報発信を行う。

3. 安全・安心な町づくり

感染症や災害から町民の命と暮らしを守り、安全安心に暮らせる町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-6	防犯灯等の更なる整備や緑地保全等の 住環境整備と住宅地の整備 を進めます。	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：まちづくり課	▶ 防犯灯について、毎年順次整備を実施しており、R7年3月末現在のLED化実施基数は534基。R7年度は45基の防犯灯を整備予定。 ▶ 宅地造成について、R4年度に宅地整備候補地の選定、R5年度に候補地の測量及び基本設計を実施。 ▶ 住環境整備について、民間進出の支援を行っている。

4. 心やすらぐ町づくり

地域の文化や風景を守り育み、観光資源を磨き上げ、さらに魅力的な町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-1	玄海町観光戦略に沿って事業を推進します。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	▶ 令和8年度に観光戦略を新たに策定するようになるため、現在の戦略に記載されている事項を実施し、それをもとに策定する。
4-2	上場地域の観光ルートづくりと情報発信を強化して、観光客の誘致に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：農林水産課	▶ 上場四町の観光地を周遊するルートづくりのため、関係団体・自治体の関係づくりを行っている。 ▶ 上場四町の観光冊子を作成し、シティプロモーション政策を実施。 ▶ R5年2月に唐津観光協会主催で、浜野浦の棚田や薬草園、ふるさと発想館等をめぐる「玄海町満喫日帰りバスツアー」が2回開催された。 ▶ R5年7月に完成したバイオガス発電所について、同年9月から一般見学の受け入れを開始した。 ▶ （一社）玄海町みんなの地域商社にて、上場地域の観光資源の一体的な情報発信や、GPS等を活用した効果検証、今ある資源の磨き上げ等を行っている。
4-3	観光客の消費を促す拠点づくりを進めます。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	▶ 浜野浦の棚田駐車場の拡充について、R5年度に駐車場設計及び測量業務を実施。9月に行った地区説明会の意見を踏まえ、R6年度に駐車場進入路の交差点改良に係る駐車場設計及び測量業務を実施し、令和7年度に申請、令和8年度に工事の予定。 ▶ R5年度に浜野浦の棚田展望台周辺地域の安全確保等整備調査を実施。調査結果を踏まえ、R6・7年度に安全確保等整備工事を実施。 ▶ 観光誘客等に寄与する拠点づくりについて、R4・5年度に実施した仮屋地区における地域拠点整備導入調査の結果のほか、R6年度に関係者への説明を行い、令和7年度に測量、調査、設計を行い、その結果等を踏まえ検討を行っていく。（2-5再掲）
4-4	浜野浦の棚田など景観の保全と、景観を活かしたコンテンツづくりに取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課	▶ （一社）玄海町みんなの地域商社にて、耕作体験イベント「守る米づくり」を行うなど、棚田の関係人口増加につながる取組を行っている。 また、R4・5・6年度に4色に輝く1万4000本のLEDライトで、浜野浦の棚田にあかりを灯す「結ぶ繋ぐあかり」を開催した。 ▶ 令和6年4月から浜野浦の棚田条例に基づく重点区域を拡大し、景観の保全を図った。

4. 心やすらぐ町づくり

地域の文化や風景を守り育み、観光資源を磨き上げ、さらに魅力的な町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-5	廃校施設の利活用について検討します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ R5年10月に株式会社ハイレゾと企業進出に関する協定を締結。事業所の立地に旧有徳小学校を活用する。GPUデータセンターを「新たな産業」として確立させることで、町の活性化を図る。 ▶ R6年2月にグルーヴ株式会社と玄海町高度化通信網を活用した地域活性化に関する包括連携協定を締結。事業所の立地に旧給食センターを活用した。高度化通信網の構築による町の活性化を図る。 ▶ 牟形コミュニティセンター及び値賀第2コミュニティセンターを企業誘致施設として令和7年度中に改修工事を実施する。（2-3再掲）
4-6	小中学生が本物のアートや歴史文化に触れる機会を創出します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	▶ 子どもから高齢者まで幅広い層に日本の文化を身近に感じてもらう機会を提供するため、文化人や歌手等を選定し、文化講演会を開催している。 R4年11月に文化講演会（KBCラジオ艶歌につぼん公開収録）実施。 R6年9月に寿教室で自衛隊音楽隊を招いたコンサートを実施。 R6年12月に大相撲玄海場所を開催。 ▶ R4年4月から文化財専門員を任用し、文化財の保護などの取り組みを強化している。 ▶ R3年度にサガン鳥栖と連携協定を締結しており、R4年度に初の連携事業である「サガン夢先生」を実施した。 スポーツを通じた地域交流や人材育成、健康づくりのため、R5年度以降もその他の交流について検討していく。 ▶ R5、R6年度にサガン鳥栖と「サガン鳥栖の日」を実施した。 ▶ R4年10月に開催された「玄海町わんぱく相撲大会」に、鳴戸部屋の鳴戸親方や力士が訪れ、子どもたちと交流した。 ▶ R4年度にR3年度文芸作品公募事業で受賞した作品を書籍化。町の認知度向上を図った。

5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-1	町民や企業、大学等の経験・技術・アイデアを積極的に政策に反映し、一緒に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 主：企画商工課	▶ 町民参画を推進するため、役場と町民会館に町政提言箱を設置している。 また、広報誌のアンケート結果を、庁内へ周知し情報共有を行うほか、質問や要望等に対する回答を「じいやに聞いてみようのコーナー」で不定期に掲載している。 ▶ 行政と住民の相互理解を深め、住民参加の町づくりを図るため、R5年2月に女性グループ（旧婦人会）とお試し座談会を実施。 ▶ 令和6年11月に企業版ふるさと納税活用事業費補助金を活用し、「エネIKU2024in玄海・唐津」を開催した。 ▶ まちづくり活性化促進事業補助金及びイベント事業補助金の活用促進。
5-2	最先端技術を使って、エネルギーを賢く使う取組を支援し、 環境保全や脱炭素化を進めます。	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：生活環境課 副：全課	▶ R5年度に次世代エネルギーパークあすぴあの特徴を活かした、エネルギーや環境に関する教育や知識の普及を図るリニューアル計画の検討を行った。 ▶ ごみの減量化・資源化に取り組むため、R4年10月に役場駐車場と値賀第3コミュニティセンターの2か所に資源物回収ボックスを設置。 R4年10月からR7年2月までに段ボール43 t、新聞紙7 t、雑誌21 tを回収し再資源化を行った。 ▶ R5年2月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改訂。 計画に基づき、2030年度までに二酸化炭素の排出量を2014年度より55%削減する。

5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-3	SDGsへの貢献も見据え、日本や世界に貢献できる政策を行います。	C	進捗度の低いもの	主：全課	「目標3 すべての人に健康と福祉を」 ▶ R6年度から75歳以上の町民を対象に、交通災害共済の掛金500円を全額負担する。高齢者の交通災害共済加入の負担軽減を図る。（1-5再掲） ▶ R6年度から50歳以上の町民を対象に、带状疱疹ワクチンの接種費用を助成し、带状疱疹の発症及び重症化抑制を図る。（1-5再掲） ▶ R6年度から介護ロボット（歩行アシスト）を活用し、定期的な前後の歩行状態が見える化することで、介護予防の質を向上させる。（1-5再掲） ▶ R6年度から介護予防教室等においてシルバーeスポーツ教室を開催し、高齢者の身体機能や認知機能の低下防止を図る。（1-5再掲） ▶ R6年度から町内の医療機関に新たに就職した常勤の看護師・准看護師・歯科衛生士へ奨励金15万円を交付し、人材確保による医療環境の安定を図る。 「目標4 質の高い教育をみんなに」 ▶ 英語教育の更なる充実を図るため、R5年度から5～6年生に英語学習を導入した。R6年度に後期課程を習熟度別でクラス分けを行い、レベルに合ったきめ細やかな指導を行う。また、入塾している児童生徒が快適な学習環境で学べるよう、プレハブ（リース）の設置工事を実施し、同年中に利用を開始した。（1-1再掲） ▶ R6年度に子育てクラブで親子ドローン体験教室、青少年育成町民会議事業でeスポーツ体験教室を開催し、児童生徒のデジタルスキルの向上を図る。 「目標6 安全な水とトイレを世界中に」 ▶ R4年度に町民会館や社会体育館等の公共施設のトイレを和式から洋式へ改修工事を行った。 「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 ▶ R5年6月に玄海町庁舎空調設備運用方針を見直し、省エネルギーの取り組みとして空調を夏季は26～28℃、冬季は20～22℃に設定している。 ▶ R4年度に企業版ふるさと納税の寄附金を活用し、電気自動車を1台導入した。 ▶ R1年11月に玄海町が「バイオマス産業都市」に認定され、R4年4月にバイオガス発電所の建設工事を開始、R5年7月に完成した。 ▶ エネIKUを支援し、エネルギーに関する学習機会を増やしている。 ▶ 防犯灯について、毎年順次整備を実施しており、R7年3月末現在のLED化実施基数は534基。 R7年度は45基の防犯灯を整備予定。（3-6再掲） ▶ R5年7月に九州電力グリーンボンド債を100,000千円分購入した。 ↓ 続き

5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-3	SDGsへの貢献も見据え、日本や世界に貢献できる政策を行います。	C	進捗度の低いもの	主：全課	↓ 続き 「目標8 働きがいも経済成長も」 ▶ R5年度に企業立地に係る奨励金制度を拡充する規則を改正し、R6年度から施行する。事業所立地奨励金・操業支援奨励金を交付することで、立地企業の初期投資や運営費の軽減を図る。（2-3再掲） 「目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう」 ▶ R4年度にAI活用型オンデマンドバス導入の検討を開始し、同年11月に、全国においてAI活用型オンデマンドバスの運行実績のあるシステムを提供するネクスト・モビリティ株式会社と協定を締結。 R7年1月～2月に実証運行を実施し、3月からの本格運行とした。（1-4再掲） 「目標11 住み続けられるまちづくりを」 ▶ R10年度から危機管理棟の供用開始を目指し、R5年度に基本計画を策定した。R6年度に基本方針及び基本設計を策定した。（3-2再掲） 「目標12 つくる責任 つかう責任」 ▶ ごみの減量化・資源化に取り組むため、R4年10月に役場駐車場と値賀第3コミュニティセンターの2か所に資源物回収ボックスを設置。R4年10月R7年2月までに段ボール43 t、新聞紙7 t、雑誌21 tを回収し再資源化を行った。（5-2再掲） 「目標13 気候変動に具体的な対策を」 ▶ R5年2月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改訂。 この計画に基づき、2030年度までに二酸化炭素の排出量を2014年度より55%削減する。（5-2再掲） ▶ エネIKUを支援し、エネルギーに関する学習機会を増やしている。（5-3再掲） 「目標14 海の豊かさを守ろう」 ▶ R4年度に有浦川河口土砂測量業務委託を実施し、浚渫土量の算定、深浅の測量を実施した。浚渫後の土砂を地域拠点整備に係る埋め立てに活用するなど、関係者間で浚渫の検討をしていく。（3-3再掲） 「目標15 陸の豊かさを守ろう」 ▶ 農業委員及び農地利用最適化推進委員の農地の利用状況調査における負担軽減及び事務処理効率の向上、総会や現地調査時の資料印刷経費の削減のため、6年度にタブレットを導入した。
5-4	各種交付金を活用しながら、明るい未来の玄海町に向け、必要などころに、必要な予算を投資します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：総務課 主：企画商工課	▶ 電源立地地域対策交付金等の有効活用を行った。

5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-5	デジタル技術を活用して、役場業務を効率化し、 利用しやすい役場 へ革新します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：防災安全課 主：企画商工課 主：総務課 副：全課	▶ R4年10月に町民サービスの利便性の向上、地域及び産業の活性化を図るため、行政手続きのデジタル化を推進するとともに、デジタル技術を活用したDXを推進する、DX推進室を設置した。R5年3月に玄海町DX推進計画を策定。 ▶ 情報発信に対する明確な方針を持ち、無駄なく的確に必要な情報を提供するため、R5年度に町の方針を定めた広報戦略を策定した。 ▶ R5年度にLINE広報を開始。幅広い行政情報の効果的な発信、情報収集等に活用する。R5年8月にゴミカレンダー、防災機能、保育園欠席連絡等の新機能を追加した。R6年度より集団健診予約受付を追加した。 ▶ R5年度にYouTubeチャンネルを開始。町内外に町の魅力や特色、取り組みを発信している。 ▶ 玄海町のマイナンバーカードの交付率は93.96%となっている。（R7月2月23日現在） コンビニ交付サービスについて、R6年2月から運用を開始した。コンビニ交付手数料の減額期間を延長し、住民サービスの向上と窓口業務の効率アップを図る。 R7年7月（予定）からマイナンバーカードを使用し、住民票の写し等の証明書をオンラインで申請及び決済ができるサービスを開始する。 ▶ R4年度にAI活用型オンデマンドバス導入の検討を開始し、同年11月に、全国においてAI活用型オンデマンドバスの運行実績のあるシステムを提供するネクスト・モビリティ株式会社と協定を締結。 R7年1月～2月に実証運行を実施し、3月からの本格運行とした。（1-4再掲） ▶ R5年度に公民館講座で高齢者等向けに「スマホ教室」を開催した。スマートフォンの扱いの基本から、便利な機能までの幅広い普及を図る。 ▶ 農業委員及び農地利用最適化推進委員の農地の利用状況調査における負担軽減及び事務処理効率の向上、総会や現地調査時の資料印刷経費の削減のため、R6年度にタブレットを導入した。（5-3再掲） ▶ R6年度から介護ロボット（歩行アシスト）を活用し、定期的な前後の歩行状態を見える化することで、介護予防の質を向上させる。（1-5再掲） ▶ R6年度から介護予防教室等においてシルバーeスポーツ教室を開催し、高齢者の身体機能や認知機能の低下防止を図る。（1-5再掲） ▶ R5年10月に株式会社ハイレゾと企業進出に関する協定を締結。GPUデータセンターを「新たな産業」として確立させることで、町の活性化を図る。（4-5再掲） ▶ R6年2月にグループ株式会社と玄海町高度化通信網を活用した地域活性化に関する包括連携協定を締結。高度化通信網の構築による町の活性化を図る。（4-5再掲） ◇続き

5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-5	デジタル技術を活用して、役場業務を効率化し、 利用しやすい役場 へ革新します。	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：防災安全課 主：企画商工課 主：総務課 副：全課	↓続き ▶ R6年度に子育てクラブで 親子ドローン体験教室 、放課後子ども教室で eスポーツ体験教室 を開催し、児童生徒のデジタルスキルの向上を図る。（5-3再掲） ▶ R6年度にキャッシュレス化の検討を行い、R7年1月にキャッシュレス決済対応可能なレジを導入。R7年4月1日から証明書発行窓口（住民課、値賀出張所）で、クレジットカード・電子マネー・QRコード決済が利用可能なキャッシュレス決済を開始する。 ▶ 町民会館に デジタルサイネージ を導入した。
5-6	社会の変化に柔軟に対応する組織づくり に取り組みます。	B	達成に向け、 進捗が見られるもの	主：総務課	▶ 組織規模の適切化を図りながら、新たな行政課題に対応するための組織体制の確立を図るため、住民課、健康福祉課の2課体制から、 3課体制へ再編 する条例改正をR4年12月に実施し、R5年4月から体制を変更した。

進捗度指標A「達成済」及びB「達成に向け、進捗が見られるもの」を合計したものを達成度として設定し、合計30項目の評価結果を集計したところ下記のとおりとなりました。

進捗度・達成度

※R6年3月31日時点

進捗度	A	達成済	3項目 / 30項目 ⇒ 10.0%
	B	達成に向け、進捗が見られるもの	16項目 / 30項目 ⇒ 53.3%
	C	進捗度の低いもの	11項目 / 30項目 ⇒ 36.7%
	D	未実施	0項目 / 30項目 ⇒ 00.0%
	達成度	A・B 達成済 又は 達成に向け、進捗が見られるもの	19項目 / 30項目 ⇒ 63.3%

進捗度・達成度

※R7年3月31日時点

進捗度	A	達成済	4項目 / 30項目 ⇒ 13.3%
	B	達成に向け、進捗が見られるもの	20項目 / 30項目 ⇒ 66.7%
	C	進捗度の低いもの	6項目 / 30項目 ⇒ 20.0%
	D	未実施	0項目 / 30項目 ⇒ 00.0%
	達成度	A・B 達成済 又は 達成に向け、進捗が見られるもの	24項目 / 30項目 ⇒ 80.0%